

発行日 令和 6年 4月18日(木)

発行者 校長 川村 克彦



令和6年度がスタートしました



本年度から、乙女小学校長となりました川村克彦です。どうぞよろしくお願いいたします。

皆様方の大切なお子様を確かにお預かりいたしました。乙女小学校本年度全職員37名で、責任をもってお子様を育てていくことをお約束いたします。

では、どのような子供に育てていくかということですが、教育基本法には、教育の目的として「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」と書かれています。簡単に言うと、「人格の完成」を目指すということです。今の子供たちが社会人として生きていく2035年過ぎの社会では、職業の半分程度が現在にはまだ存在しない職業に変わっていると言います。以前のように上司から言われたことを「はい」と聞き、言われたことを従順に行うだけの仕事は、ロボットが代わって行うので不要となります。しかし、その思考の目的を与えたり、目的のよさ・正しさ・美しさを判断したりできるのは人間の最も大きな強みであり、人工知能がどれだけ進化し思考できるようになったとしても、それを人工知能が勝手に自ら能力を持って動き出すことはありません。ですから、2030年以後の時代は、人が自ら考えて、生み出す力が必要とされています。「社会の形成者としての必要な資質」は、まさに自ら考えて行動していくことができる子供となります。

そこで、乙女小学校では、本年度の経営方針を「やる気のある子供に育てる」といたしました。つまり、言われたことだけを行う子供ではなく、自ら考えて行動できるように、よく言われている「主体的に行動できる」児童の育成を目指します。具体的にどのように行っていくかにつきましては、以後、この学校だより「たんぽぽ」を通してお知らせいたします。また、網戸小学校との統合も来年に控え、進捗状況などもあわせてお知らせいたしていきたいと考えています。

子供は、担任を選べない。そして学校も(ほぼ)選べません。ですから我々教職員は、出会えた子供を大切に、成長のために全力で向き合っていきます。またそのためには、学校にいる時間よりも長く子供と接する保護者の皆様の協力が不可欠です。1年間ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今年は月に数回のペースで発行していきたいと思っています。

